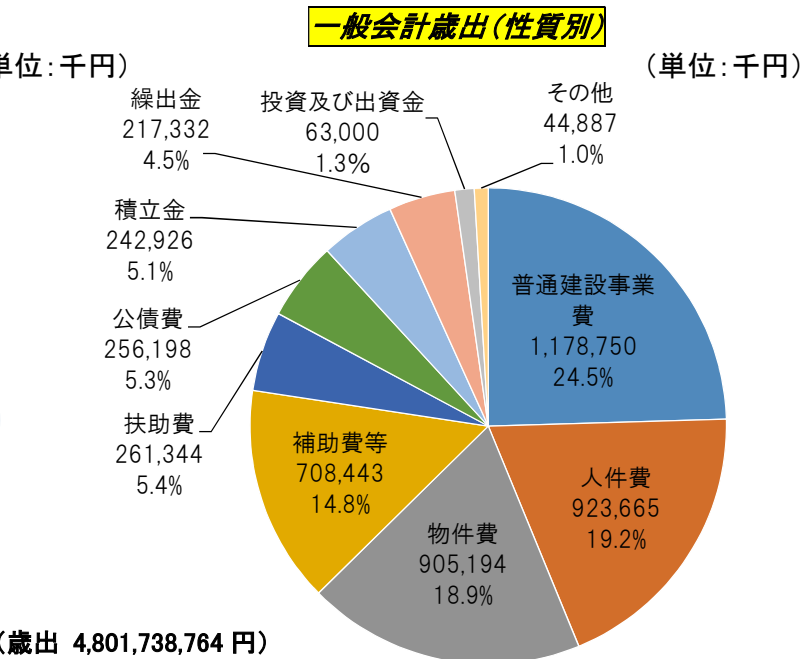
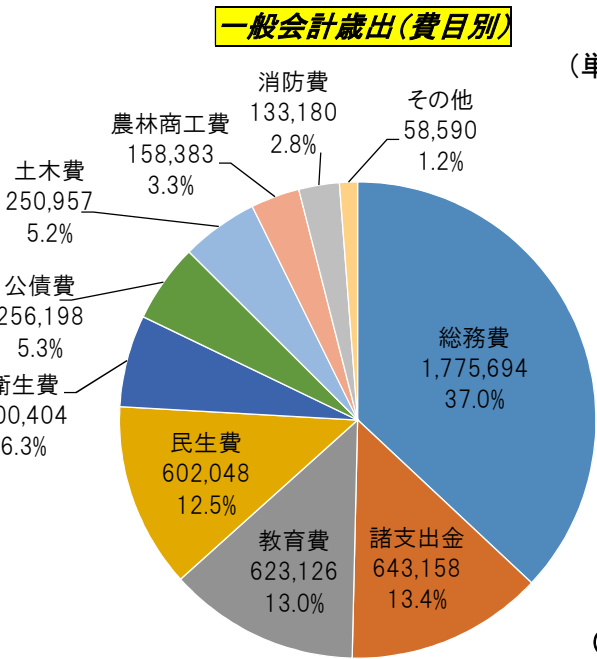
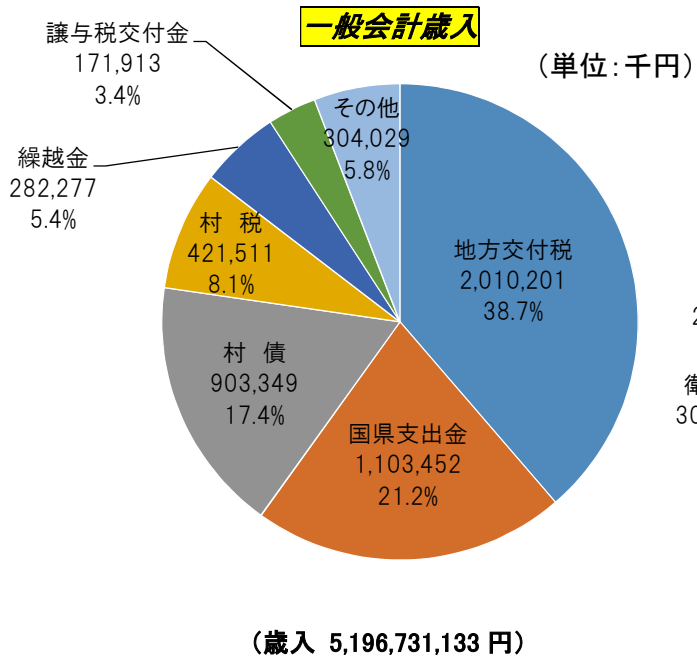


令和3年度決算の概要

明日香村の令和3年度一般会計決算は、歳入51億9,673万円、歳出48億174万円で、前年度と比べると歳入で3,319万円、0.6%増、歳出で7,952万円、1.6%の減となりました。また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の10会計を合算すると、歳入74億5,691万円、歳出71億9,513万円となり、前年度と比べると歳入で1億930万円、1.5%増、歳出で3,180万円、0.4%減(新庁舎建設推進事業4億428万円増、特別定額給付金給付事業5億5,256万円減等)となりました。一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額のうち、次年度に繰り越す事業に必要な財源30万円を差し引いた実質収支額は3億9,469万円の黒字となりましたが、コロナ禍により村民税が前年度と比べ411万円、1.7%減少しており、地方交付税や国県支出金など依存財源にたよった決算となっています。



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰出金等

会計別歳入歳出決算 (単位:円)

会計区分	歳入	歳出	差引	
一般会計	5,196,731,133	4,801,738,764	394,992,369	
特別会計	整備基金	34,665,023	31,537,170	3,127,853
	高松塚壁画館受託事業	6,996,022	6,996,022	0
	国民健康保険(事業勘定)	842,131,488	814,685,909	27,445,579
	〃 (診療施設勘定)	10,188,630	10,188,630	0
	後期高齢者医療	108,531,279	108,507,779	23,500
	介護保険(事業勘定)	666,142,845	654,725,478	11,417,367
	〃 (サービス事業勘定)	3,795,064	3,795,064	0
	飲料水供給施設事業	8,760,753	8,760,753	0
	公有地等住宅開発事業	2,112,176	2,112,176	0
	小計	1,683,323,280	1,641,308,981	42,014,299
水道事業会計	209,045,241	309,785,940	△100,740,699	
下水道事業会計	367,813,647	442,294,677	△74,481,030	
合計	7,456,913,301	7,195,128,362	261,784,939	

基金及び起債の状況 (単位:円、%)

区分	令和2年度末	令和3年度末	増減率
財政調整基金	653,117,939	703,241,462	7.7
減債基金	165,133,888	215,174,548	30.3
役場庁舎建設基金	607,885,802	594,832,084	△2.1
文化財保存基金	85,741,258	85,760,121	0
応援基金	69,459,415	73,180,055	5.4
その他の基金	3,625,771,324	3,639,474,611	0.4
合計	5,207,109,626	5,311,662,881	2.0
起債			
一般会計	3,335,265,470	3,993,098,049	19.7
特別会計	6,600,000	6,600,000	0
水道事業会計	599,902,059	576,252,078	△3.9
下水道事業会計	1,442,654,888	1,298,589,122	△10.0
合計	5,384,422,417	5,874,539,249	9.1

(※出納整理期間を含む。)

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

生活環境及び産業基盤の整備

※ は新規事業

区分	内容	金額
子ども子育て支援事業の推進【住民課・健康づくり課・教育課】	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センターでは、コロナ禍においても各関係機関と連携協力し母子の健康管理や虐待防止への対応を行った。また、子育て世代の孤立を防ぐために継続的に子育て交流会や教室の運営、子育てに関する情報をリアルタイムに伝えるため、あすかこアプリの活用など子育て世代の包括的な支援の運用を実施。【H28～】アプリ会員数 242 名 子育て世代の経済的な負担の軽減について、不妊治療費助成【H28～】・妊産婦健診助成【H18～】・給食費負担軽減【H28～】・幼稚園や保育園の保育料等軽減事業【H28～】及び無償化【R1～】や出産お祝い金、小・中学校への新入学児童・生徒へお祝い金の支給【H29～】を継続し、子育て世代の経済的な負担の軽減を図った。またコロナ感染拡大時の休園による特定事業従事者やひとり親家庭等への保育提供や休園の保育料の減免を実施。 引き続き放課後児童健全育成事業を空き教室を利用して実施し、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し適切な生活や遊びの場の提供。【H25～】放課後児童クラブ利用児童数 40 名 	20,137,167円 91,834,741円 11,857,189円
幼小中学校経営事業【教育課】	・幼小中一貫教育の特色を活かした教育として、各校教員の相互乗入れ授業を行い、学級担任制から教科担当制への円滑な移行や英語教育、明日香ならではの郷土学習(「明日香学」)の充実を図った。また、臨床心理士や特別支援員を配置し、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行い、学力向上と自立した感性豊かな子どもの育成を目指した。	48,372,106円
学校施設環境整備事業【教育課】	・学校施設の長寿命化を図り、安心安全な学習環境を確保するため、老朽状況や過去の改修実績等に基づき国の財政的支援策を活用しながら年次計画的に取り組んだ。〔小学校床改修工事(繰越明許分)・給食センター給水管等取替工事・中学校老朽改修工事設計業務【翌年度繰越額 90,000千円】〕	36,284,600円

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

健康・福祉

区分	内容	金額
健康づくり事業【健康づくり課】	・県立医科大学と連携し特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24～】や健康ステーション事業【H29～】、糖尿病等治療助成事業【H30～】、健診未受診者事業の強化や健康不明者の健康確認等を実施し、疾病や重症化の予防を図った。また、健康や介護予防事業の参加者に健康ポイントを付与し多世代にわたる健康意識の向上を図った。	27,465,400円
健康福祉センター機能再編計画策定事業【健康づくり課】	・新庁舎建設にあたっての事務所移転後の空間の有効活用を図ることで、コロナ禍においても子どもから高齢者まで幅広い世代が集いやすいような健康福祉センターの新たな施設のあり方と利用拡大を図っていくための計画を策定。	3,971,000円
医療費助成事業【住民課】	・必要とする医療を容易に受けられるように、心身障害者医療費、乳幼児・子ども医療費及びひとり親等医療費等の自己負担分の一部を助成。	27,887,880円

区分	内容	
地域包括ケア体制構築事業【健康づくり課】	・コロナ禍のフレイル対策として、健康福祉センターから大字集会所へあすか長生き体操の動画を同時配信し、生活に身近な場所での実施。また、民生児童委員の訪問活動やふれあいサロン活動などを通じて見守り支援を実施。 ・社会福祉協議会では、買い物の支援の体制を見直し、担い手の育成支援や公共交通機関の活用等に向けて体制を整備するなど、継続的な事業の定着を図った。	57,719,976円

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

安全・安心・生活環境・定住

区分	内容	
消防団指揮車購入事業【総務財政課】	・消防団員の移動や火災・災害時の作戦本部として活用するための消防団指揮車を更新。	3,150,000円
地域防犯推進事業【総務財政課】	・地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯LED化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。 (防犯灯LED化補助45基、防犯カメラ補助4大字、防犯灯修繕9基)【H30～】	2,877,800円
定住促進事業【総合政策課】	・空き家を有効活用するため、空き家バンク制度に基づき、登録物件の増加や所有者と利用者のマッチング、建物の改修などの経費に対する一部助成を実施。【H21～】(登録奨励金12件、仲介補助金12件、不動産整理費用補助金4件、リフォーム工事補助金3件、不動産流動化対策補助金1件、利子補給金1件) ・子育て世帯の定住促進を図り、世代間のバランスがとれた人口構成の実現と活気ある村づくりを目指すため、住宅を新築された方に対し、助成を実施10件。【H28～】 ・市街化区域(阪合地区)において、住宅地形成を促進するための需要動向の調査など基礎調査を実施。	9,003,600円 10,000,000円 6,127,000円
クリーンセンター管理運営事業【住民課】	・飛鳥地域における広域行政の連携により、可燃ごみの焼却処分を橿原市に委託し、適正処理に努めた。 ・クリーンセンターの老朽化したトラックスケールを更新。	63,505,520円 3,080,000円
公共交通運行事業【総合政策課】	・交通弱者の外出支援を行うため、乗合交通等の導入や福祉運賃の設定、バス路線の維持を実施。【H15～】四阿の設置を実施。また、村の状況変化や社会情勢の変化に対応した公共交通とするための計画検討と併せ、実証運行に向けた準備を開始。【R2～】 ・金かめ乗合交通の運行 ・コミュニティタクシー運行 ・福祉運賃委託(周遊バスにおける高齢者・障がい者の外出支援) ・路線維持負担金(八木下市線、桜井飛鳥線)	46,192,400円
下水道施設整備事業【地域づくり課】	・老朽化する下水道施設について計画的かつ効率的に点検・調査・修繕等を行い長寿命化を図るため、ストックマネジメント計画(管路)を策定した。	19,030,000円
水道老朽管等更新事業【地域づくり課】	・安全で安定した給水を行うため、老朽管及び加圧ポンプの緊急通報装置の更新等を実施。 老朽管の更新(岡、小原) L=63.1m 給水4戸、加圧ポンプの緊急通報装置更新4カ所 水道施設改修設計 改修設計2カ所 撤去設計3カ所 布設替設計(祝戸) L=231m	43,835,000円
道路維持事業 橋梁長寿命化事業【地域づくり課】	・安全で円滑な走行環境を確保するため、経年劣化した舗装等の修繕とともに、橋梁の定期点検を実施し、補修により長寿命化を図った。 道路維持事業 御園他5カ大字 草刈り及び側溝清掃 橋梁補修工事2橋 定期点検26橋 補修設計5橋	76,051,200円
新庁舎建設推進事業【総合政策課】	・実施設計を完了し、開発等の許認可を取得後、造成工事を実施。併せて、新庁舎に必要な備品の取得等に向けた準備作業を実施。	772,708,888円

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

農業・林業・商工・観光・雇用

区分	内容	
担い手育成支援事業【観光農林推進課】	・農業従事者の高齢化や担い手が減少するなかで、持続的に営農活動が行えるよう新規就農者や後継者等が行う生産活動、及び、担い手への継承・集約の促進を図るため耕作放棄地解消活動に取り組む集落に対しての支援等を実施。	9,661,000円
農村魅力づくり事業【観光農林推進課】	・耕作放棄地を解消し、就農者へ良好な農地として斡旋を目指すとともに、世界遺産にふさわしい農村景観を創出し来訪者へのもてなしの演出を実施。 ・また、農業資源を活用した多様な農業体験メニューの開発を実施。	10,000,000円
農商工活性化支援事業【観光農林推進課】	・農業戦略に基づき、重要作物である水稲作物及び省力化野菜の生産拡大、マコモダケ・ショウガ等の持続可能作物の栽培実証を実施。 ・マーケットインの視点から付加価値を見直し、農産物や加工品のブランディング強化による販売力強化の取り組みを実施。	17,824,396円
有害獣対策事業【観光農林推進課】	・猟友会及び捕獲専門員と連携し、積極的な個体数の減少(駆除)に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成による人材確保を実施。 ・また、集落等の弱点や課題を診断し、防御技術向上や自己防除の認識を高めるための支援を実施。	9,568,610円
観光振興事業【観光農林推進課】	・村の歴史・文化・自然などの地域資源をPRするとともに、文化観光ツアー造成や飲食店との連携によるキャンペーン開催等を実施し、国内・国外からの観光来訪者の受入環境の充実を図った。	3,909,849円
観光基盤整備事業【観光農林推進課】	・観光戦略に基づき、滞在型観光の満足度を高めるための旅行商品・体験プログラムを造成するとともに、西明日香地域におけるサイン設置など、受入地環境基盤整備を実施。	8,383,000円
地域おこし協力隊事業【総合政策課】	・過疎地域の制度を活用し、明日香村に関心を持ち活動を行う企業や人材の受け入れを実施。 ・地域おこし協力隊2名(観光分野1名、農業分野1名)【H29～】 ・地域活性化起業人2社(ふるさと納税分野1社、農業分野1社)【R3～】	15,961,135円
飛鳥ハーフマラソン事業【教育課】	・コロナ禍で様々な制約はあったものの、全国から多数のランナーに参加いただき、明日香の魅力をもっと堪能いただくことができた。(出走者数2,726名、完走者数2,676名、完走率98.1%)	18,000,000円

世界遺産登録による歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

区分	内容	
世界遺産登録推進事業【総合政策課・文化財課】	・世界遺産登録推進協議会を中心として、専門家のアドバイスを受けながら推薦書素案を再修正し、令和4年6月に文化庁へ最終素案を提出。普及啓発活動として講演会を実施。【H18～】	3,790,700円
村民協働事業【総合政策課】	・景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援を実施。【H23～】 ・大字単位の景観・環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】 ・住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援を実施。【S55～】	365,500円 37,879,200円 30,377,800円
多様な団体との連携事業【観光農林推進課】	・農業・観光を軸とした地域活性化に向けて、各種オーナー制度に対する継続支援、また、新たな市場開拓に向けたインバウンド事業の実施、及び、住民等による企画実現に向けた経費に対する支援を実施。	10,796,000円
牽牛子塚古墳等整備事業【文化財課】	・斉明陵とされる八角墳の国史跡牽牛子塚古墳と隣接する越塚御門古墳の保存・活用に向け、歴史的風土にふさわしく飛鳥を体感できる施設とするための一体的復元整備工事を実施。(R4.3.5 供用開始)【H29～R3】 A=1.2ha	113,727,910円
古代飛鳥再現事業【文化財課】	・飛鳥の歴史文化資源の「見える化」を図るため、古代飛鳥を復元する手法の検証を行い、飛鳥時代を体験できるようコンテンツ等の開発を行った。【越塚御門古墳解説コンテンツ制作・伎楽復元・世界遺産解説機能強化】	25,273,001円